

News Release

2024年2月26日
チューリッヒ保険会社

2023年度第3四半期(2023年12月期)の主要業績のお知らせ

チューリッヒ保険会社(日本における代表者および最高経営責任者:西浦 正親)より、2023年度第3四半期(2023年4月1日~2023年12月31日)の主要業績をお知らせします。

業績の概要

チューリッヒ保険会社(チューリッヒ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド)は、チューリッヒ・インシュアランス・グループのアジアにおける重要拠点として、1986年、日本に設立されました。ダイレクトビジネス、提携ビジネスなど、複数のチャネルを通じて個人のお客さまに幅広い保険サービスを提供しています。当社は、グループの強固な財務基盤(S&P社格付 AA/stable)を活用し、日本における業容拡大に取り組み、デジタルイゼーションの推進および新商品の開発に継続的に投資を行ってまいりました。

当年度においても、主力商品の傷害・医療保険および自動車保険については、ともに元受保険料の増収を達成し、総収入保険料は前年同期より4.6%増加し、894億円となりました。一方、前年同期より正味損害率は3.4ポイント上昇し48.2%、正味事業費率は2.5ポイント改善し34.3%となりました。

また、事業費率は改善したものの、インフレーションによる保険金単価上昇、事故件数の増加による損害率上昇に伴い、発生ベースのコンバインド・レシオは前年同期より上昇し87.3%となり、経常利益は前年同期より14億円減少し42億円となりました。しかしながら、近年の安定した課税所得の発生を背景に、繰延税金資産の回収可能性において企業の分類を変更した結果、法人税等合計は26億円(利益)となり、当期純利益は74億円となりました。

上記の結果として、単体ソルベンシー・マージン比率は2023年12月末現在で739.8%となり、十分な支払余力を維持しています。

主な指標は以下のとおりです。

(単位:百万円・%・ポイント)

	2022年12月期	2023年12月期	
			対前年同期 増減率
収入保険料	85,416	89,353	4.6
正味損害率	44.8	48.2	3.4
正味事業費率	36.8	34.3	△2.5
経常利益	5,645	4,199	△25.6
当期純利益	5,382	7,435	38.1
	2023年3月期末	2023年12月期末	
単体ソルベンシー・マージン比率	557.0	739.8	182.8

用語説明や注記

収入保険料	元受保険料と受再保険料から各々解約返戻金、その他返戻金を控除した金額です
正味損害率	正味支払保険金に損害調査費を加えて正味収入保険料で除した割合です
正味事業費率	諸手数料及び集金費に保険引受に係る営業費及び一般管理費を加え、正味収入保険料で除した割合です
経常利益	経常収益から経常費用を差引いた金額です
当期純利益(純剰余)	当期純損益計算の最終結果である税引後当期純利益です
ソルベンシー・マージン比率	ソルベンシー・マージンの額の合計額をリスクの合計額で除した割合で、小数点第2位以下を切り捨て小数点第1位まで表示しております
金額・比率の注記	金額は記載単位未満を切り捨てて表示し、増減率等の比率は小数点第2位を四捨五入し小数点第一位まで表示しております

[チューリッヒ・インシュアランス・グループ決算概要](#)